



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月8日

上場会社名 株式会社 NITTOH

上場取引所 名

コード番号 1738 URL <http://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-304-8210

四半期報告書提出予定日 2022年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,584	3.4	137	14.6	152	10.9	98	12.1
2022年3月期第2四半期	4,434	13.2	161	180.0	171	139.9	112	159.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 101百万円 (3.8%) 2022年3月期第2四半期 97百万円 (115.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	24.30	
2022年3月期第2四半期	27.65	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,557	3,966	60.5
2022年3月期	6,512	3,921	60.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,966百万円 2022年3月期 3,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		14.00	14.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	5.3	450	10.4	470	8.6	322	23.3	79.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	4,060,360 株	2022年3月期	4,060,360 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	7,257 株	2022年3月期	7,257 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	4,053,103 株	2022年3月期2Q	4,053,103 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(追加情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大があったものの、経済社会活動の正常化に向けた諸政策により、従来までの行動制限が緩和されたことから、国内景気の緩やかな回復が期待されました。しかしながら、世界的な金融引締め等の影響を受けた円安、長期化しているロシア・ウクライナ情勢による地政学的リスクを背景とした原材料価格やエネルギー資源価格の高騰、国内の物価上昇など、さまざまな経済活動に影響を与える景気下振れリスクや金融市場の下振れリスク、政策動向による不確実性があり、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、住宅建築業界におきましては、補助金などの住宅取得促進諸政策の継続、住宅ローン金利の低水準での推移などありましたが、依然として、半導体不足に伴う一部の住宅設備品の不足、原油価格高騰やサプライチェーンの混乱などによる建設資材の価格上昇などの影響があり、本格的な回復には至らない厳しい状況で推移いたしました。

当社グループでは、主に建設工事業において、新築建設物向けの工事件数は低調に推移したものの、既存の戸建住宅向けのリフォーム工事、集合住宅に対する補修・修繕工事、高効率給湯器の取替工事、注文戸建住宅及び分譲建売住宅の売却件数などが増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,584百万円(前年同四半期比3.4%増)となり、営業利益は137百万円(前年同四半期比14.6%減)、経常利益は152百万円(前年同四半期比10.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は98百万円(前年同四半期比12.1%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて44百万円増加し、6,557百万円となりました。主な増減は、棚卸資産の増加145百万円、事務所建設用地の取得に伴う土地の増加59百万円があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産の減少144百万円、現金及び預金の減少27百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて0.3百万円増加し、2,590百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加114百万円があったものの、支払手形及び買掛金の減少107百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて44百万円増加し、3,966百万円となりました。主に利益剰余金の増加41百万円、その他有価証券評価差額金の増加2百万円があったことによるものであります。

## (キャッシュ・フロー状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、27百万円減少(前年同四半期は19百万円の減少)し、当第2四半期連結会計期間末には1,253百万円(前年同四半期は1,272百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、0.7百万円(前年同四半期は88百万円の増加)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益152百万円に加えて、売上債権及び契約資産の減少による資金の増加144百万円があったものの、棚卸資産の増加による資金の減少145百万円、仕入債務の減少による資金の減少107百万円、法人税等の支払額85百万円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、104百万円(前年同四半期は24百万円の減少)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入27百万円があったものの、定期預金の預入による支出27百万円、リフォーム店舗の拡充に伴う事務所建設費用など有形固定資産の取得による支出104百万円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、78百万円(前年同四半期は83百万円の減少)となりました。これは、主に長期借入の実施による収入200百万円があったものの、長期借入金の返済による支出65百万円、配当金の支払額56百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、本日公表(2022年11月8日)いたしました「2023年3月期 第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、2022年5月10日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,314,540	1,287,146
受取手形、売掛金及び契約資産	1,254,735	1,110,649
棚卸資産	877,444	1,023,125
その他	82,859	67,890
貸倒引当金	△1,368	△1,558
流動資産合計	3,528,212	3,487,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	942,749	919,440
土地	1,617,552	1,677,515
その他（純額）	13,378	57,200
有形固定資産合計	2,573,680	2,654,157
無形固定資産		
その他	8,047	10,980
無形固定資産合計	8,047	10,980
投資その他の資産		
その他	402,837	405,212
貸倒引当金	△400	△430
投資その他の資産合計	402,437	404,782
固定資産合計	2,984,165	3,069,920
資産合計	6,512,377	6,557,173

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	802,539	695,455
短期借入金	510,000	510,000
1年内返済予定の長期借入金	70,392	90,396
未払法人税等	91,529	52,152
賞与引当金	111,310	119,952
完成工事補償引当金	20,700	18,900
その他	291,391	284,453
流動負債合計	1,897,862	1,771,308
固定負債		
長期借入金	118,432	233,204
退職給付に係る負債	403,947	414,616
長期未払金	9,840	9,840
その他	160,385	161,847
固定負債合計	692,604	819,508
負債合計	2,590,467	2,590,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	3,569,627	3,611,362
自己株式	△1,883	△1,883
株主資本合計	3,899,628	3,941,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,281	24,993
その他の包括利益累計額合計	22,281	24,993
純資産合計	3,921,910	3,966,357
負債純資産合計	6,512,377	6,557,173

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	4,434,287	4,584,372
売上原価	3,228,108	3,364,867
売上総利益	1,206,178	1,219,505
販売費及び一般管理費	1,044,832	1,081,644
営業利益	161,346	137,861
営業外収益		
受取利息	12	93
受取配当金	757	1,123
受取手数料	1,473	1,418
受取保険金	906	5,084
受取賃貸料	9,633	9,279
その他	2,855	3,287
営業外収益合計	15,639	20,284
営業外費用		
支払利息	2,170	2,375
賃貸費用	2,334	2,681
固定資産除却損	1,253	-
その他	1	513
営業外費用合計	5,760	5,570
経常利益	171,224	152,575
税金等調整前四半期純利益	171,224	152,575
法人税、住民税及び事業税	59,127	53,996
法人税等調整額	39	100
法人税等合計	59,167	54,096
四半期純利益	112,057	98,478
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,057	98,478

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	112,057	98,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,555	2,711
その他の包括利益合計	△14,555	2,711
四半期包括利益	97,502	101,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,502	101,190
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	171,224	152,575
減価償却費	25,449	24,881
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,518	8,642
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△1,500	△1,800
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,182	10,669
貸倒引当金の増減額(△は減少)	400	220
受取利息及び受取配当金	△769	△1,216
支払利息	2,170	2,375
有形固定資産除却損	1,253	-
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	101,907	144,086
棚卸資産の増減額(△は増加)	△83,644	△145,680
仕入債務の増減額(△は減少)	△56,150	△107,084
その他	△20,043	△1,891
小計	161,998	85,777
利息及び配当金の受取額	769	1,216
利息の支払額	△2,128	△2,436
法人税等の支払額	△71,934	△85,327
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,705	△770
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△27,860	△27,860
定期預金の払戻による収入	27,860	27,860
有形固定資産の取得による支出	△24,745	△104,950
無形固定資産の取得による支出	△220	△3,340
貸付金の回収による収入	273	3,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,691	△104,655
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	△35,196	△65,224
配当金の支払額	△48,637	△56,743
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,833	78,032
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19,819	△27,393
現金及び現金同等物の期首残高	1,292,220	1,280,467
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,272,401	1,253,073

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,854,827	717,372	856,970	4,429,171	—	4,429,171
その他の収益(注) 2	5,116	—	—	5,116	—	5,116
外部顧客への売上高	2,859,943	717,372	856,970	4,434,287	—	4,434,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	169	169	△169	—
計	2,859,943	717,372	857,139	4,434,456	△169	4,434,287
セグメント利益	68,424	137,507	83,452	289,383	△128,037	161,346

(注) 1. セグメント利益の調整額△128,037千円には、セグメント間取引消去14,267千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△142,304千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,000,949	699,827	878,639	4,579,416	—	4,579,416
その他の収益(注) 2	4,956	—	—	4,956	—	4,956
外部顧客への売上高	3,005,905	699,827	878,639	4,584,372	—	4,584,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	61	61	△61	—
計	3,005,905	699,827	878,700	4,584,433	△61	4,584,372
セグメント利益	76,073	117,517	68,032	261,623	△123,762	137,861

(注) 1. セグメント利益の調整額△123,762千円には、セグメント間取引消去14,167千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△137,929千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

## (追加情報)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

当社グループは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時点までに入手可能な情報に基づき、経済状況は緩やかに回復に向かうものの、業績への影響は一定期間続くものと仮定し、会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響は不確実性が高く、今後の感染拡大の影響により、会計上の見積りに影響を与える可能性があります。